

平成 28 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社トラスト・テック
 代表者名 代表取締役会長CEO 小川毅彦
 (コード:2154 東証第一部)
 問合せ先 取締役管理本部長 村井範之
 電話番号 03-5777-7727

第 2 四半期連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正
 並びに剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

平成 27 年 8 月 7 日に公表いたしました平成 28 年 6 月期第 2 四半期連結業績期間の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 8 月 7 日に公表いたしました平成 28 年 6 月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

併せて、本日開催の取締役会において、平成 27 年 12 月 31 日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を決議し、平成 27 年 8 月 7 日に公表いたしました期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正について

(1) 平成 28 年 6 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想値との差異（平成 27 年 7 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）
 (単位：百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前 回 予 想 (A)	13,750	823	823	511	※52 円 93 銭
今 回 実 績 (B)	14,545	1,107	1,103	643	※66 円 62 銭
差 異 額 (B - A)	795	284	280	132	—
差 異 率 (%)	5.8	34.6	34.1	25.9	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 6 月期第 2 四半期)	9,918	655	670	423	※44 円 25 銭

※ 当社は、平成 28 年 4 月 1 日を効力発生日として、1 株につき 2 株の割合で株式分割を実施する予定であります。第 2 四半期連結会計期間末においては株式分割実施前である為、1 株当たり四半期純利益については、株式分割前の株式数により算定しております。平成 28 年 2 月 12 日に公表しております「株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関するお知らせ」をあわせてご参照ください。

(2) 平成 28 年 6 月期通期連結業績予想の修正 (平成 27 年 7 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 予 想 (A)	28,500	2,300	2,300	1,450	※75 円 10 銭
今 回 修 正 (B)	30,000	2,500	2,500	1,500	※77 円 69 銭
増 減 額 (B - A)	1,500	200	200	50	—
増 減 率 (%)	5.3	8.7	8.7	3.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 6 月期)	20,819	1,597	1,623	1,024	※53 円 39 銭

※ 当社は、平成 28 年 4 月 1 日を効力発生日として、1 株につき 2 株の割合で株式分割を実施する予定であるため、連結業績予想における 1 株当たり当期純利益については、株式分割後の株式数により算定しております。また、前期実績 (平成 27 年 6 月期) の 1 株当たり当期純利益については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。平成 28 年 2 月 12 日に公表しております「株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関するお知らせ」をあわせてご参照ください。

(3) 差異及び修正の理由

①第 2 四半期連結累計期間

技術系領域において技術者に対する人材ニーズが高く、当社への引合いが強い状況で推移しました。また、平成 27 年 7 月に子会社化した株式会社フリーダム (自動車向けソフトウェア開発)、株式会社テクノパワーより事業譲受した IT 領域の事業部門 (サーバーやネットワーク等の IT 技術部門)、更には平成 27 年 10 月に子会社化した株式会社トライアル (技術者派遣) についても業績が堅調に推移しており、当第 2 四半期連結累計期間から業績寄与した結果、技術系領域が全体業績をけん引し売上高及び各利益項目において、上表の通り当初予想を上回る結果となりました。

②通期

通期の見通しにつきましては、引き続き人材需要の高い技術系領域を中心に売上高の伸長が継続するものと予想され、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益とも、上表の通り当初予想をそれぞれ上回る見込みです。

2. 剰余金の配当（中間配当）と期末配当予想について

（1）剰余金の配当（中間配当）の決定の内容

	決定事項	直近の配当予想 (平成27年8月7日公表)	(ご参考) 前期実績 (平成27年6月期)
基準日	平成27年12月31日	同左	平成26年12月31日
1株当たり配当金	30円00銭	同左	25円00銭
配当金の総額	289,615千円	—	239,761千円
効力発生日	平成28年3月4日	—	平成27年3月3日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

（2）期末配当予想の修正の内容

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (平成27年8月7日)	30円00銭	45円00銭	75円00銭
今回修正予想	—	25円00銭 (注) 2	— (注) 3
当期実績	30円00銭 (注) 1	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年6月期)	25円00銭	35円00銭	60円00銭

(注) 1 当社は、平成28年4月1日を効力発生日として、1株につき2株の割合で株式分割を実施する予定です。平成28年6月期第2四半期末の配当金につきましては、今回の株式分割の効力発生日が平成28年4月1日であるため、株式分割前の株式が対象となります。このため、第2四半期末の配当金は1株当たり30円00銭となり、前回予想からの修正はありません。

2 平成28年6月期の期末配当金につきましては、株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の平成28年6月期（今回修正予想）の期末の配当金は前回予想より1株当たり5円増配し50円00銭、合計では80円00銭となり、配当予想を修正（増配）しております。

3 今回修正予想の合計は、株式分割前の第2四半期末配当と株式分割後の期末配当であるため単純合計できませんので記載しておりません。

（3）修正の理由

当社は、安定配当を重視しつつ業績に連動した配当を行うことを利益還元の基本方針としております。この基本方針と前述の業績動向を踏まえ、期末配当につきましては、上記のとおり増配することといたしました。

※ 本資料に記載されている業績予想等に関する内容は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかわる本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上